

○第3次中期経営計画2023年度の視点別取組計画・取組状況・評価

S:計画以上に進捗 A:計画通りに進捗 B:概ね計画通りに進捗 C:進捗に遅れが見られ、改善が必要(1回/年)

- 評価対象外

視点	取組項目	2023年度取組計画	上半期取組状況	下半期取組状況	取組評価	指標状況(年度)				評価指標	2026年度末目標値			
						2023	2024	2025	2026					
受託事業におけるサービス向上・充実・効率化の推進	1-1 受託事業におけるサービス向上・充実	・社からの提供サービスの品質全般の向上検討	・1人勤務職場における開館トラブル解決策検討(PC電源ON/OFF状態データ利用検討) ・10月(予定)よりPC電源起動情報を、指定端末に送信するシステムを導入(対象地域福祉センター10館)⇒未開館情報の早期把握⇒即時対応が可能 ・市営住宅事業におけるリフォーム業務の品質向上に向けて、要因分析図を利用した改善策を検討(下半期に所管課へ提案、協議予定)	・1人勤務職場における開館トラブル解決策継続検討(PC起動情報通知実施) ・市営住宅事業におけるリフォーム業務およびせんがわ劇場事業における窓口業務について、要因分析図を利用した品質向上の取組を実施	B	-	(未実施)			利用者サービス品質	90%以上			
		・市の窓口手続きのデジタル化推進サポート	・地域福祉センター申込手続きのデジタル化(インターネット予約システムの構築)について、所管課及び協力事業者と開発を進めた。また、地域福祉センター管理員に予約システムの運用研修を実施した。(7/10~9/24 延べ154人が受講した。)	・所管課と連携し、10月より地域福祉センターにインターネット予約システムを導入、運用を開始した。 ・インターネット予約システム運用開始に向けて地域福祉センター管理員を対象に研修を実施(累計25回) ・地域福祉センターの12月~3月の予約総数6,330件(インターネット予約5,912件、その他来館等418件)※インターネット利用率93%	S									
		・アンケート内容検討(実施方法、対象事業、設問など)	・令和4年度実施アンケート自由意見欄分析、調布南第1自転車駐留場(地下施設)の携帯端末不感地対策を検討中(交通対策課へ提案済み) ・他市のアンケートなどの実施状況について調査中	・令和6年度アンケート調査実施に向けて、実施方法を検討	B							7%	来館予約件数(地域福祉センター)	50%以下
		・職員研修・訓練の実施(接客、消防、救命、防災など)	・福祉避難所開設訓練(西部、下石原、金子、緑ヶ丘の各地域福祉センター4/22)	・上半期に引き続き福祉避難所部会に参加(3回/年) ・従業員対象に普通救命講習、認知症サポーター養成講座、自衛消防訓練等を開催	A									
	1-2 受託事業における効率化の推進	・受託事業における業務効率やコスト抑制等に資する取組の創意工夫、検討・見直し	・受託契約仕様変更によるコスト抑制案を検討 ・電子契約の導入を検討(ペーパーレス化)	・ふじみ交流プラザにおける夜間シフトの見直しを実施 ・令和6年度受託契約において電子契約を導入予定 ・令和6年度受託契約におけるコスト抑制案を市に提案	B	1件				業務見直し件数	累計8件以上			
		・再委託業務の公社直営化などの検討	・撤去業務などの状況調査	同左	B									
		・業務委託における公正性や透明性の確保	・公社規程を遵守した発注継続	同左	B							47.8%	競争発注率	50%以上
	1-3 受託事業における適切な事務処理の推進	・事務局基幹業務の棚卸、課題等抽出、専門窓口での現状評価・分析	・他団体における基幹業務システム視察・意見交換(7/13、7/27) ・市産業労働支援センター(中小企業診断士)へ、事務局基幹業務のシステム化相談、協議中	・事務局基幹業務のデジタル化について、令和6年度からの試行実施準備	B	234時間				年間時間外勤務時間数	138時間以下			
		・施設窓口受付システム導入済み箇所の検証	・ふじみ交流プラザにおいてインターネット予約システムの検証を行い、管理者画面等の一部改修を実施。(操作性の向上) ・ふじみ交流プラザの4月~9月の予約総数249件(インターネット予約206件、その他来館等43件)	・ふじみ交流プラザの10月~3月の予約件数173件(インターネット予約150件、その他来館等23件)※インターネット利用率87%	A	70,000枚						年間コピー用紙使用量(地域福祉センター)	65,250枚以下	
	1-4 受託事業に関する取組の検証	・年間工程表を活用した、業務の見える化、検証、見直し(PDCAに基づく各種取組のスパイラルアップ)	・主要5事業の年間工程表策定(3月) ・QC委員会(6/26、9/25)において検証・情報共有 ・QC委員会の開催(6/26、9/25)	・QC委員会開催時に年間工程表を活用した業務の検証・情報共有	A	推進中				年間工程表の活用状況	QC委員会での定期確認			
		・QC委員会、事業推進会議等の活用推進	・QC委員会の開催(12/25、3/25) ・事業推進会議の開催(9回/年)	・QC委員会の開催(12/25、3/25) ・事業推進会議の開催(9回/年)	A	13回						委員会等の累計開催回数	累計60回以上	
		・事業所部署との情報共有、意見交換の実施	・例会打ち合わせの実施(交通対策課、スポーツ振興課、協働推進課、高齢支援室)	同左	A									
地域貢献の推進	2-1 市民雇用の推進	・良好な勤務環境の維持及び改善に向けた取組の検討、推進	・施設との情報共有の強化(lineworksの活用【規則規程類の掲示など】) ・事務局でのフリーアドレスの検討着手	・事務局でのフリーアドレス導入継続検討	A	84.1%			職員全体の市民雇率	90%以上				
		・多様な働き方の導入検討	・平時におけるテレワーク勤務利用についての指針通知(事務局内5/22) ・テレワーク規程の改正検討(10/1改正予定)	・テレワーク規程の改正実施(10/1付)	A									
		・受託事業を通じた新たな雇用機会の確保の検討、推進	・欠員補充などに関し、市民を中心とした募集情報を提供しているが応募状況が厳しく、一部職場では募集人員を確保できず、シニア人材センターからの派遣受入も併用	・新規事業における新たな雇用の場の確保 ・既存事業における、業務見直しによる新たな雇用の場の創出	S						169人	職員全体の市民雇人数	180人以上	
	2-2 障がい者の就労機会の提供	・雇用機会(職員募集)に関する情報提供の推進	・市報、求人誌、HP、Twitterに加え一部施設等で募集案内掲示を実施	・市報、求人誌、HP、X(旧Twitter)に加え一部施設等で募集案内掲示を実施 ・市内関連団体との連携による人材の確保	S		14件			障がい者団体への業務発注件数	累計80件以上			
		・障がい者団体への新たな業務発注の検討、実施	・ふじみ交流プラザでの装飾業務の委託開始(4月~5作業所参加)	・ふじみ交流プラザでの装飾業務委託(1年間)実施 ・上記委託の末年度実施に向けた課題を抽出	S									
		・障がい者団体等との情報共有や意見交換の実施	・調布市福祉作業所連絡会とインボイス制度対応状況等について意見交換(令和5年度からの対応については統一的見解がでないことから、未登録との回答、次年度以降について継続協議)	・調布市福祉作業所連絡会と令和5年度新規業務に関わる検討会を開催	S									
	2-3 市内事業者との連携	・障がい者雇用の継続(法定雇率の遵守)	・継続雇用(1名)に加え、4月より特別支援学校卒業生を営繕チームでトライアル雇用として受入れ開始(6/1のハローワーク報告では3.85%) ・障がい者雇用の拡充検討(2-4と連動)	・事務局勤務者の雇用継続 ・営繕チームでのトライアル雇用の勤務日数増(3日/週~4日/週) ・営繕チームで受入れたトライアル雇用の雇用継続 ・トライアル雇用の拡充を検討、実施	S	3.54%				法定雇率の遵守・継続	法定雇率2.7%の達成			
		・協力事業者登録制度の効果検証	・既存協力事業者へのインボイス制度登録状況調査を実施(128社登録済、未登録7社:9/30現在)	同左	S	91.3%						市内事業者発注率	87%以上	
		・市内事業者と連携した受託事業実施の推進(発注推進)	・継続	同左	S	2億5847万						市内事業者への発注金額	2億4000円以上	
	2-4 就労体験に関する取組の推進	・障がい者就労支援に関する関係機関等との連携による障がい者の就労体験の受入	・特別支援学校就労体験受入(5人、5/23~5/24) ・調布市福祉事業団(ちようふだぞう)就労体験受入(2人、6/26~7/7)	・特別支援学校就労体験受入(4人、2/7~2/8) ・調布市福祉事業団(ちようふだぞう)就労体験受入(2人、1/22~2/2)	S	33人				就労体験受入数	累計80人以上			
		・ちようふ若者サポートステーションからの就労体験受入	・ちようふ若者サポートステーションからの就労体験受入(4人、6/20~6/29、7/11~7/27、7/31~8/10、9/26及び9/28)、新規受託予定事業におけるトライアル雇用受入も検討	・ちようふ若者サポートステーションからの就労体験受入(4人、10/10、10/11、10/13、1/29~2/8、2/20~2/22) ・トライアル雇用の実施(新規事業6人、既存事業3人)	S									
		・教育委員会及び中学校との連携による中学生の職場体験の受入	・調布第3中学校職場体験受入(5人、7/5~7/7)、調布第6中学校職場体験受入(2人、9/6~9/8)、調布第7中学校職場体験受入(5人、9/12~9/14)	下半期は受入なし	A							9人	就労体験者の雇用	累計2人以上
組織の活性化	3-1 情報提供の推進	・ホームページを活用した、適時・適切な情報提供の推進及び情報提供の拡充検討(新たなコンテンツ等)	・決算書類、中期経営計画関連、理事会・評議員会議事録、役員等名簿等の掲載を滞りなく進めた。 ・福祉作業所と連携して、ふじみ交流プラザでの窓ガラス等への装飾実施(月毎にテーマを変える) ・ホームページ認知度向上策として、QRコードからのアクセス増加策を検討(名刺、封筒などについて)	同左	A	1,600件			法人ホームページアクセス数	年間1200件				
		・市民における公社の認知度向上に資する情報提供の推進	・情報収集中	・市の所管課と連携し、ふじみ交流プラザの装飾業務を市及び公社のホームページにて掲載 ・QRコードの活用方法について、継続検討	A									
		・様々な媒体を活用した情報発信の検討、実施	・関係団体(ちようふ若者サポートステーションや調布市福祉作業所等連絡会など)と連携した、情報発信の検討	・関係団体(ちようふ若者サポートステーションや調布市福祉作業所等連絡会など)と連携した、情報発信の検討	B						30,600件	自転車ホームページアクセス数	年間31400件	
	3-2 地域や団体等との連携	・見守りや防災協力協定の実行性向上に向けた取組の推進	・「見守りネットワーク」関連団体連携会議に参加予定(下半期) ・福祉避難所部会に参加(2回7/10、8/4)	・国領地区の「見守りネットワーク」関連団体連携会議に参加(11/2) ・福祉避難所部会に参加(1/19)	A	推進中				みまもっと事業への協力状況	公社全体での見守り活動支援			
		・各種会合や訓練への参加	・福祉避難所開設訓練(西部、下石原、金子、緑ヶ丘の各地域福祉センター4/22)※1-1再掲 ・令和5年度調布市防災関係機関意見交換会出席(7/5)	・福祉避難所部会において、公社の役割等を確認	A									
		・認知症サポーター講座や救命講習受講、消防訓練等の実施	・下半期実施予定	・認知症サポーター養成講座(3/22)、自衛消防訓練(9/29、3/26)、普通救命講習(11/6~11/8)	A	推進中						防災事業への協力状況	共同訓練4回、自主訓練4回(自衛消防訓練、普通救命講習を対象)	
3-3 職員の育成・人材確保	・各職員のキャリアプランを踏まえた人材育成の推進	・同左	同左	A	推進中				OJTの推進	OJTによるスキル継承(職位別能力評価の取得)				
	・OJT、OFF-JTの推進	・同左	同左	A										
	・職員における地域貢献意識の醸成	・第3次中期経営計画への参画推進(4PJで取組中)	・第3次中期経営計画への参画推進を継続	A							18回	OFFJT受講回数	累計50回以上	